



## 高校野球のマナーとルールを学ぼう (第42回)



一般財団法人兵庫県高等学校野球連盟

グラウンドでの試合を振り返り、高校野球の大切なマナーとルールを学びましょう。  
あなたの「なぜ? どうして?」にわかりやすくお答えしていきます。

### マナー編 プレイを決めつける?

一死一塁、一塁走者が盗塁を試みるも完全アウトのタイミング。しかし、まだプレイが完了する前に何人かの野手が「OK!」と声を掛け合っ  
てベンチに帰ろうとしました。

余裕のあるプレイに気持ちが躍ったかもしれません。しかし、一つのプレイはど  
ちらのチームにとっても大切な一瞬。また、プレイは瞬時に変化することも考え  
れば、まずは「ていねいが欠けていた」ことを反省するべきでしょう。

打者を追い込んだバッテリーが、勝負球の判定を待つまでにベンチへ帰りかけ  
るのも同じようなケースです。自己有利の雰囲気、相手に思わず礼を失してい  
ないでしょうか? また、判定者の存在を大切にす品格を養いたいものです。



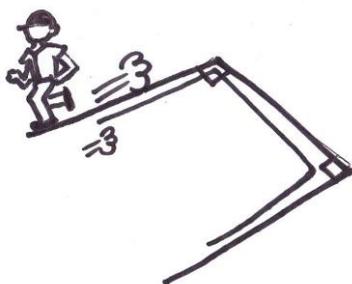
### ルール編 アピールプレイで無得点に?

二死二・三塁、打者は右翼線に長打で二人の走者は生還。打者走者は一塁を空過して二塁へ進み、さら  
に三塁を狙うも返球でアウトになりました。守備側ベンチから一塁手に「一塁の空過をアピール」と声か  
かったものの、「もう三死になってますよ!」と返しましたが…。

打者走者の一塁空過に対するアピールが認められれば、規則7・10中段の「**第3アウトが成立したのち、ほかにアピ  
ールがあり、審判員が、そのアピールを支持した場合には、そのアピールアウトが、そのイニングにおける第3アウト  
となる**」とあります。

つまり、打者走者が三塁でアウトになる前に二者が生還しているので通常なら2得点となりますが、この場合は三死と  
なったあとに、打者走者の一塁空過をアピールされ、審判員がそれを認めたため、規則4・09【付記】(1)「打者走者が  
一塁に触れる前にアウトにされたとき。」が適用されることとなり、二人の走者の得点は無くなります。

無得点と2得点では大きな違い、適切なアドバイスを送ったベンチは当然としても、規則への無知や勘違いは、大切な  
ゲームを台無しするところでした。



なお、規則2・02にはアピール(APPERAL)の用語を、「守備側チームが、攻撃側チ  
ームの規則に反した行為を指摘して、審判員に対してアウトを主張し、その承認を  
求める行為である」と定義しています。また「高校野球特別規則26」は「審判員に対  
して規則の疑義を申し出る場合は、主将、伝令または当該選手に限る。」の規定で  
す。『高校野球審判の手引き』56～59頁には【アピールプレイ】について詳細掲載  
がありますので確認してください。